



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31年 4月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 こうや尻村をつくる会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	高野尻村をつくろうプロジェクト
事業実施区域 (小学校区)	高野尻町内 牧石学区 (岡山市立牧石小学校区)
① 事業実施内容	事業実績は別紙添付 平成28度から引き続き物作り体験、外遊び体験、収穫体験など子どもを主にした親子参加型体験活動を基本とした事業を行っています。 芋掘りやキウイ・竹の子の収穫などの農業体験、村内で集めた木や小枝、木の実など使ったクラフトなど高野尻村の特色が出るよう工夫に努めています。 竹のすべり台など手作り遊具もリニューアルしました。お餅つきや恵方巻きなど自分で作る体験をし、至福の時を過ごしました。 七草摘み・節分祭・ひな祭り・端午の節句・お飾りづくりなど昔からの慣習行事の伝承なども実施しました。
② 解決を目指した課題	岡山市街地近郊にありながら公共交通機関もなく過疎・高齢で限界集落化が進む地域、段々畑や農地に耕作放棄地が目立ちますが、高野尻村から色々な活動を発信することで少しでも地域外の人が訪れ、高野尻集落の活性化が図れ集落内に住む高齢者の健康寿命の増進につなげたい。 高野尻で今も守られ現代の社会で失われつつある、結い(相互扶助組織)の考えを後世に伝えることも必要、災害が多発する今だから発生時の助け合い(協働)について伝えたい。 昔から伝わる慣習や行事も地域に住む高齢者から学んで欲しい。 地元親子の参加がほとんどないので、学区内への働きかけへの工夫に努める。

③ 目的・目標の達成状況	1 達成できた事 ① 活動を定期的(月二回)に実施することで地域住民の活動の場ができた。 ② 活動の中に昔からの慣習行事を取り入れることで催事の伝承ができた。 ③ 活動を通して結の精神も次世代の子ども達や子育て中の保護者にも芽生えてきています。また田舎暮らしの大変さや楽しさも分かってもらえた。 ④ 親子参加型の活動を通して地域外に住む親子との触れ合いに積極性が増し、生き生きしている。 ⑤ 活動参加者の中から農業体験(耕作放棄地活用)の利用者が少しずつではあるが増えてきている。 2 達成が出来なかった事 ① 多くの参加が子育て中の親子であり当日の手伝いには積極的ではあるが長期的なスタッフの確保はあまり出来なかった。
④ 企画等の工夫と情報公開	各企画を親子参加型に重点を置き、体験を共有してもらうことで、リピーターへと繋げていきたいと考えました。さらに、子どもも親も高野尻の自然と思い思いの形でかかわってもらえるようイベント後の時間にもゆとりを持たせるようにしています。 参加者との会話の中で「また、やって欲しい」という声を取り上げ継続的な企画と同時に「あっ、こんな企画もあるんだ」とさらなる楽しみが持てるよう変化をつけるようにしました。 活動のチラシを三ヶ月ごとにまとめ企画内容を記載したチラシへと変え早めに情報を伝えるようにしたことで、予約をする家族や「友達を誘ってみます」と参加者増へとつながって行きました。また、受け入れ可能な家族数に限度があるためキャンセル待ちの受付も行いました。 ・ 高野尻村 FaceBook を作成しての情報発信 ・ 牧石連合町内会ホームページでの毎月のイベントチラシの掲載 ・ リピーターへのメールやチラシ送付での企画情報の発信 ・ 北公民館チラシ張り出し ・ 子どもとおでかけ岡山イベント情報にチラシ掲載

⑤ 次年度計画	今まで好評だった企画や高野尻の四季折々の自然を活用した企画、年間を通して昔から伝わる催事を地域に住む住民による伝承活動。 月によっては参加者が少ないこともあったので、新たな企画を考えるにあたり開催日程を見直したり、天候不良による順延などが可能な企画、高野尻村だからできる企画を行っていきたいと考えています。 年度初めに今までの参加家族に対して物作りや自然体験活動、外遊び、農業体験事業に対しての意見を聞く機会を設け、みんなが楽しんで参加出来る企画を立てたいと考えています。 泊をとまうような企画も実施したいと考えています。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	高野尻村企画に参加している親子は、子育て真っ最中(多くは就学前幼児)の家族ばかりです。だからこそこの自然豊かな高野尻村での企画に参加して下さりゆっくりとした時間を過ごしているのだと思っています。 グループで施設を一日借りて過ごすという利用者も増え、畑を借りて野菜を作りたい、空家を貸してもらえないだろうかなど、企画以外にもこの地にかかわりを持ってみたいという声が続いています。 地域内に住む高齢者が子どもの声を聞きたいと働きかけたり、活動の中で自分たちの生活の知恵を子どもたち(親も含め)に直接伝えようと関わりをもとうとすることが健康寿命の増進につながっていると思います。 ハードルの高いものもあるが実現に向けて一步一步積み重ねていきたいと思っています。 利用者の第二の居場所として長く継続的な有効利用が実現できるよう、お互いに考えを出し合い、今持ってもらっている高野尻村のイメージをさらに持続・発展させていきたい。 ○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ①地域課題の解決を図る地域部門としては、事業内容の再検討が必要なのではないでしょうか。 ・地域内に住む高齢者が子どもの声を聞きたいと働きかけたり、活動の中で自分たちの生活の知恵を子どもたち(親も含め)に直接伝えようと関わりをもとうとすることが健康寿命の増進につながっていると思います。 ②努力されている様子はよくわかります。後継者スタッフの問題など不安なこともありますが、がんばって継続して欲しいです。 ・高野尻村企画に参加している親子は、子育て真っ最中(多くは就学前幼児)の家族ばかりです。ただ、リピーターが増え当日参加者の方から声をかけて下さり、その場で出来ることを手伝って下さる場面が増え、交流が日常的になってきています。今はこの状況が維持できたらと思っています。 ③参加人数が少ないように思います。 ・企画の内容にもよりますが高野尻村施設の規模、スタッフの状況からすると1日の体験活動の参加者は10～15家族30人前後が適当だと考えます。 助言等の内容について、改善ができましたか。 I できた II おおむねできた III 一部できなかった IV まったくできなかった V 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容	
2018年4月22日	山桜の花見と山菜採り（竹の子掘りとわらび狩り）	14家族 47人
5月6日	端午の節句祭り（鯉のぼりクラフトとかしわ餅づくり）	8家族 26人
5月27日	さつま芋の植付けとウォークラリー	8家族 23人
6月10日	パンづくり パン屋さんになろう	3家族 7人
6月24日	紫蘇ジュースづくりとしその葉のたたき染め	4家族 10人
7月16日	高野尻村忍者と夏野菜の収穫	6家族 13人
7月21日	高野尻村縁日ごっこと花火大会	14家族 44人
8月4日	高野尻村ソーメン流し(竹の碗・お箸づくり)	6家族 16人
8月21日	高野尻村お大師様とお接待	6家族 15人
9月17日	そば饅頭づくりと松ぼっくり(松ぼっくりトトロ)クラフト	11家族 23人
9月30日	サツマイモ掘りと火であそぼう(台風の為中止)	
10月8日	さつまいも掘りと案山子づくり	6家族 17人
10月21日	手づくりパン教室(竹パン・棒パン・蕎麦の蒸しパン)	6家族 20人
11月11日	高野尻村忍者修行	16家族 34人
11月25日	キウイフルーツの収穫体験と火で遊ぼう(焼いも)	7家族 16人
12月9日	お飾りとクリスマス飾りづくり	4家族 13人
12月23日	高野尻村お餅つき	20家族 55人
2019年1月6日	七草摘みと七草粥・作って揚げよう六角飴	2家族 5人
1月20日	火で遊ぼう「とんど焼き」	10家族 28人
2月3日	豆まき(節分祭)と恵方巻きづくり	10家族 25人
2月17日	ミニプレーパーク	15家族 33人
3月10日	ひな祭り(おひな様づくりと巻きずしづくり)	3家族 7人
	合計	179家族 477人
	平成29年度実績	合計 140家族 376人

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	500, 000	270, 500	
負担金	130, 000	100, 000	高野尻村をつくる会
参加費	170, 000	170, 628	村行事の参加料
寄付、他収入			
計	800, 000	541, 128	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	170, 000	144, 248	インクカートリッジ バケツ 砂 ストープ 消火器他
② 食糧費	10, 000	3, 056	お茶代
③ 印刷製本費	20, 000	0	
④ 燃料費	6, 300	16, 424	灯油 ガソリン
⑤ 光熱水費	110, 000	87, 667	電気、ガス、水道代
⑥ 通信運搬費	33, 000	20, 500	切手代
⑦ 広告料	0	0	
⑧ 手数料	0	0	
⑨ 使用料・賃借料	180, 000	180, 000	家賃
⑩ 原材料費	215, 700	71, 233	材木、釘、ロープ他
⑪ 委託料	30, 000	0	
⑫ 工事請負費		0	
⑬ 報償費	25, 000	13, 000	講師料
⑭ 保険料	0	5, 000	賠償責任保険
⑮ 旅費	0	0	
計	800, 000	541, 128	